

CUC公開講座 環境配慮型農業を活用した他セクターとの連携によるSDGs推進
養蜂事業による福島活性化事業 福島S-HART事業

福島県立須賀川創英館高等学校 高校としての取り組み

令和5年7月28日 千葉商科大学 丸の内キャンパス

須賀川創英館高校 商業科 大橋清作



発表の概要

高校としての取り組み



- 1 須賀川創英館高校について
- 2 イノベの取り組み
- 3 商品開発の取り組み
- 4 高大連携の大切さ

1 須賀川創英館高校について





1 須賀川創英館高校について

その成り立ちとキャリア指導推進校

- ・須賀川高校と長沼高校の統合校として令和4年4月開校
- ・キャリア指導推進校
- ・須賀川高校 オフィス情報科 1 クラスと普通科 5 クラス
- ・長沼高校 普通科 2 クラス
- ・須賀川創英館高校 普通科 6 クラス
- ・令和5年度 3年 1～5組・6組7組(1組オフィス情報科)
1年普通科 6クラス 計19クラス

キャリア指導推進校

福島県教育委員会(一部抜粋)



幅広い生徒の進路希望や学習ニーズに対応した教育活動の充実を図り、地域と連携した地域課題解決の探究学習に取り組むことで、地域を支える核として社会に貢献できる人づくりを担う

地域に根ざした学校

取り組みと仕組み



地域を学習の場として活動することで地域連携や地域に対する貢献する心を芽生えさせ、将来の地域のプレーヤーを育てたい。

校内組織の改編

須賀川創英館高校開校準備としての組織改編



地域連携部

地域連携
担当教職員

渉外(P T A)・購買
同窓会 図書・視聴覚

総合的な探究の時間

総合的な探究の時間

探究活動をとおした閉じない学び → 回答を作る



教科・科目を超えた
横断的・総合的な学習

協働的な学習

「問い」があるか

「解答」ではなく「回答」

2 イノベの取り組み



2 イノベの取り組みについて

福島イノベーション・コースト構想等を担う人材育成に関する事業



平成30年度～令和2年度

産業と教育 令和4年4月号 

「ふくしまみらいチャレンジプロジェクト 福のこみやげ」の取り組みと連携し、「ハンドメイドガラス工房 アトリエ iriser(イリゼ)」の協力を得て商品開発を行いました。

4:41 **福のこみやげ**

須賀川高校メイリゼ(小高区)コラボアクセサリー受注会

場所 すかがわ観光物産館flatto **期間** 2月20日(土)～3月31日(木)

※2月20日(土)11時～12時 特別受注会を開催



ピアス、イヤリング各50セットずつ完全受注生産のため数量に達し次第販売が終了
予約方法など詳細は販売会期間中に会場でご案内予定です。

FCT 令和3年2月17日 ゴジてれにて告知

2 イノベの取り組みについて

福島イノベーション・コースト構想等を担う人材育成に関する事業



令和3年度～令和5年度

「養蜂事業による福島空港活性化プロジェクト」を千葉商科大学と高大連携しながら進めています。

須賀川市で採蜜された「伝右衛門ハチミツ」を使ったスイーツ作りに取り組んでいます。



令和3年度の活動の様子です。伝承館での学習です。

3 商品開発の取り組み



3 商品開発の取り組み

オフィス情報科



商品開発をとおして何を学ぶのか。

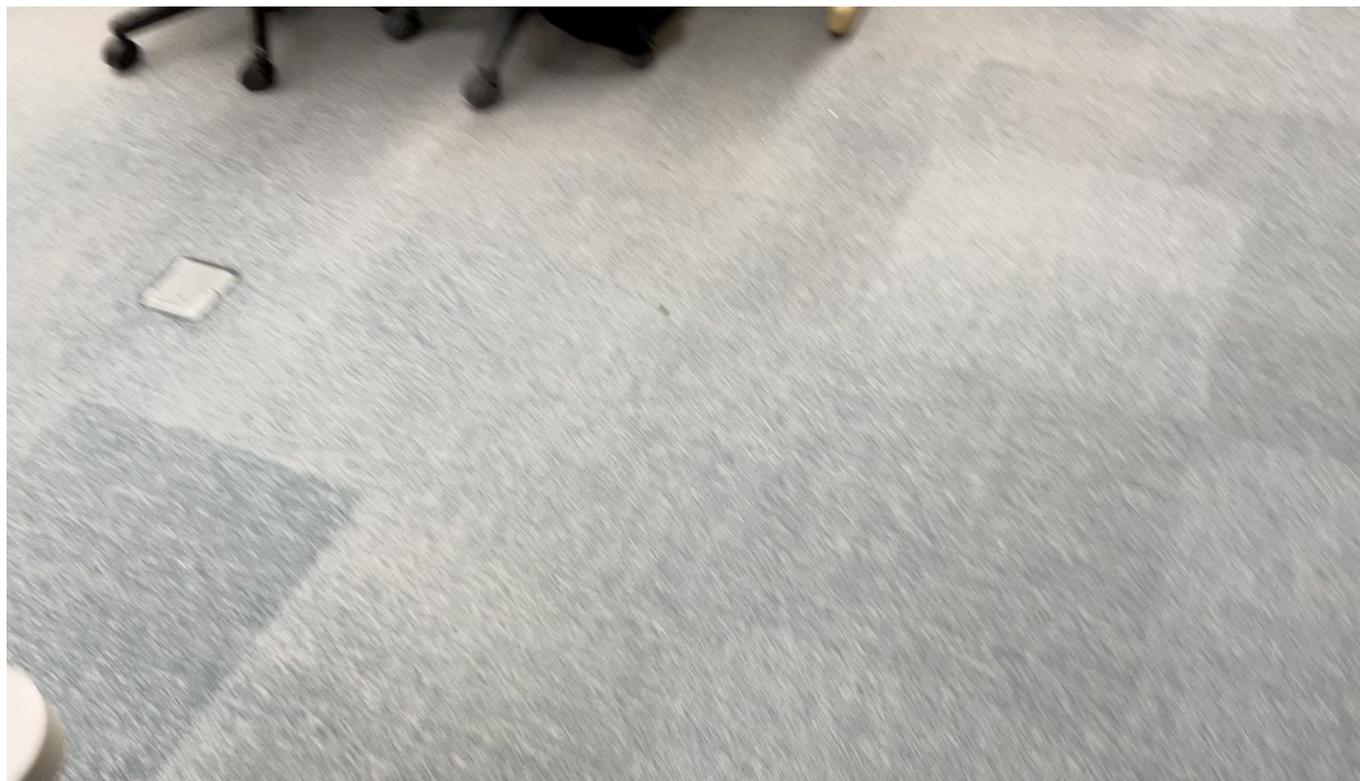
協働 知のインテグレーション

目標・目的を持った学びと意思決定

3 商品開発の取り組み

オフィス情報科

協働



商品開発をとおして何を学ぶのか。



3 商品開発の取り組み

オフィス情報科

協働

ネーミング

伝右衛門LaBeeNIR

でんえもん ラ・ビーニャ

商品開発をとおして何を学ぶのか。



3 商品開発の取り組み

オフィス情報科

知のインテグレーション

1年次からの商業の学びが有機的につながっている。

生徒の中にある今まで知識としてあった学習内容も体験を通してつながっている。

作業と仕事の違い 解答と回答の違い

商品開発をとおして何を学ぶのか。



3 商品開発の取り組み

オフィス情報科

目標・目的を持った学びと意思決定

協働には生徒自らの役割を認識することが大事

自分たちのゴールを共有したときに何が正解かを話し合うことができる。

ゴールを共有して話し合うからこそ、何を大事にするのか、生徒の価値観や課題解決の方法に個性が発揮される。

商品開発をとおして何を学ぶのか。

4 高大連携の大切さ





4 高大連携の大切さ

千葉商科大学 須賀川創英館高校オフィス情報科

大学は高校とは違う学びの取り組み

高校でいう探究活動がベースになるアプローチ

年齢が近くても学びに対するアプローチが違う

相手の質問に対して曖昧な知識だといいい加減な回答になってしまう。【自分の立場を認識できる】



4 高大連携の大切さ

千葉商科大学 須賀川創英館高校オフィス情報科

進路希望

実際に大学生と協働的な取り組みをすることで、大学について身近に感じている。

進路希望に進学や大学希望が増えた。この取り組みについて関わる仕事についても興味を持つことができています。



4 高大連携の大切さ

千葉商科大学 須賀川創英館高校オフィス情報科

実際に会うこと
の大切さ

セレンディピティ





おわり

